② 人口減少化の歯止め策は

A若年者のふるさと定住化を促進



正春議員

坂元

ある。 くり、若年者が町内で働 る事は大事な政策課題で ける職場住宅環境を整え やすい自慢できるまちづ てる社会づくり、生活し 産み育てる事に喜びを持 人口減少化を抑制する 家庭を持ち子供を

として(仮称)少子化問 題対策委員会の設置は考 実行できる施策はあるの か。人口減少の歯止め策 大崎町の実態を踏まえ

町有地活用の宅地分譲を

町 長

どもを生み育てやすい環 ところ考えていない。 る。 る限りのことを講じてい 61 として宅地分譲を進めた に遊休町有地の有効利用 化を促進するため、 境づくり、ふるさと定住 策を重点課題と捉え、子 している。今後少子化対 し、出生児数も年々低下 本町の人口も年々減少 少子化対策にはでき 委員会の設置は今の 早急

住民参加のまちづくりを 進めるために

坂元議員

自性と魅力を兼ね備えた ちづくりを進展させ、独 の住民参加のまちづくり、 誇りを持って暮らせるま 「活力に満ちた町づく 町長の施政方針に、真

> 域住民と共生・共働する り」を実現すること、 る考えか。集落未加入者 くりをどんな施策で進め をつくり上げたいとある の対応策はあるのか。 ような行政運営の仕組み 集落・地域・校区づ 地

住民みんなで つくるまち

町

度の活用で加入促進の強 りのため、今後もお互い 相互扶助の精神で取り組 住みよい校区・地域づく ていると認識している。 とは伝統的に引き継がれ をはかり集落担当職員制 存の自治公民館の活性化 未加入者対策として、既 落にお願いする。このこ んでいただきたい。集落 集落でできることは集

化に努めたい

農業振興について これからの

坂元議員

今後どう対処する考えか 地・耕作放棄地の面積と 荒れ地となった遊休農

基盤整備の推進で

す。 されるものと思っていま 場整備事業の導入で解消 れてない。今後水田は基 田が約16haあり、 れ地の畑は約189hx 結果、耕作復帰できる荒 盤整備の推進で、 雑竹林化の面積は把握さ 技連会で全筆調査した 畑もほ 田畑で

組織づくりについて 自主防災

悪な犯罪事件を始め、 が活動は、 防犯ボランティア団体 自然災害や凶

坂元議員

きいと思う。集落・地域 犯罪未然防止の効果は大 種災害の早期対応処置 災発生時の初期消火、各

援をすべきではないか。 トロール隊」の結成の支 る「防災・防犯・安全パ

地域ぐるみで 協力体制を

町

修会など実施していく。 の普及をはかるため、研 防災・防犯に関する知識 災組織づくりに合わせ、 いる地区もあり、 域ぐるみで組織化されて 防災対策については地 自主防

リーダーを対象 指して、 体・財産を守り に自主防災組織 る町づくりを目 安心して暮らせ 地域の

民間移託計画 今後進める は

坂元議員

の防犯・防災意識を高め

ているか。 託計画はどのようになっ これから進める民間委

できる部分から進める

上げ、 ところである。 ましいか、検討している 活用か、 民営化検討部会」を立ち 者制度を含む役場業務の 職員による「指定管理 完全な町の直営が望 指定管理者制度の 部分的な業務委



▲マグネット式の防犯ステッカー